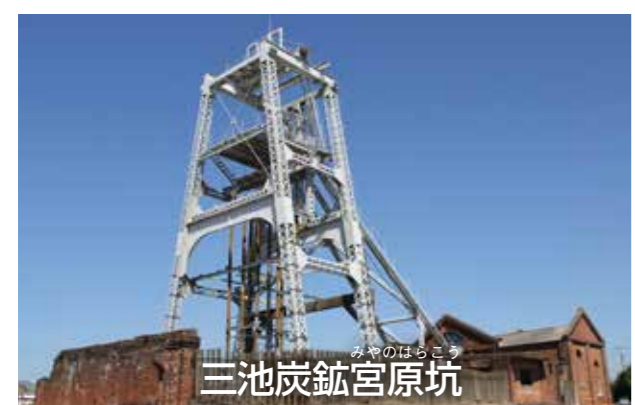


# 三池炭鉱の営み

日本の産業の近代化を支えた「採炭・運搬・国内外への輸送」という石炭産業の一連のシステムと歴史が世界遺産登録に当たり、高く評価されました。



三井が最初に独自で開発した豎坑。深部の採炭による揚水問題に技師・団琢磨がデビーポンプを導入したことで克服しました。



三井が総力を挙げて整備した日本最大規模の豎坑。大正から昭和にかけて各施設の電化による設備の充実が図られ、三池炭鉱の主力坑として活躍しました。



三池炭鉱の各坑口で掘り出された石炭を港や国鉄へ輸送するために整備された貨物専用鉄道。後に炭鉱関係者の通勤・通学や買い物にも利用されていました。



遠浅で干満の差が大きい有明海の水位を一定に保つため、開閉式の開門を設置しています。国内外へ船で石炭を輸送していました。現在も港は稼働中です。

西暦(年)	1469 文明元	江戸時代	1873 明治6	1889 明治22	1890 明治23	1896 明治29	1898 明治31	1902 明治35	1905 明治38	1908 明治41	1931 昭和6	1944 昭和19	1951 昭和26	1960 昭和35
三池炭鉱の歴史	三池群稲荷村の農夫が石炭を発見	柳川藩・三池藩で採炭	日本坑法配布。三池炭鉱が官営となる	政府から三井組へ三池炭鉱を払い下げ	三池炭鉱専用鉄道工事着手	團琢磨により、三池炭鉱でデビーポンプを初導入	宮原坑操業開始	万田坑操業開始	三池炭鉱専用鉄道開通(万田く四山)	三池港開港	宮原坑閉坑(採炭中止)	戦前の出炭量最高を記録(403万トン)	万田坑閉坑(採炭中止)	三池争議(史上最大の労働争議)

西暦(年)	1963 昭和38	1970 昭和45	1997 平成9	2009 平成21	2010 平成22	2015 平成27	西暦(年)	1894 明治27	1895 明治28	1904 明治37	1905 明治38	1941 昭和16	1945 昭和20	1968 昭和43
三池炭鉱の歴史	三川鉱炭じん爆発事故	戦後の出炭量最高を記録(657万トン)	三井三池炭鉱閉山	万田坑ステーション開館	万田坑一般公開開始	世界文化遺産登録	日本・世界の歴史	日清戦争開始	日清戦争終結(日本勝利)	日露戦争開始	日露戦争終結(日本勝利)	太平洋戦争開始	太平洋戦争終結(日本敗戦)	国民総生産(GNP)アメリカに次ぎ、世界第2位